



アバン仙台 Jr. Youth News

第30回

2017年 2月号

2017 冬季強化合宿～「成果」と「課題」～

来年度はMJ2部リーグで戦い、アバンツァーレは1部昇格が最大の目標です。ただし、結果を求めるうえでチームは、「アバンツァーレのサッカー」、つまり「ドリブルを主体とした攻撃的なサッカー」を「再生」することが求められます。昨年までの戦い方が現在の選手たちのプレーの中にも生きていて、成果を感じています。積み重ねてきた技術とサッカー観をベースに、今後はもっともっと相手ゴールに向かって攻撃を繰り返し展開していけるように強化していきます。

そのための取り組みとして、1月8日・9日と栃木県にて強化合宿を行いました。今回の合宿では2年生と1年生チームに分かれ、それぞれの学年の課題に集中して取り組みました。

2年生：「課題はフィニッシュ場面」～ ポイントは「連携」～

2年生の課題として挙げているのは「フィニッシュ場面の連携」です。今後のリーグ戦を戦い抜き1部昇格を目指すうえで、「ゴールを意識した連携」が必要です。ドリブルを主体にボールをよく動かし、選手の距離感をとスピードを意識する。そしてかわるタイミング、技術精度、

アイデアで得点を奪えるところに「アバンツァーレのサッカー」が感じられます。

合宿を通して「1得点の大事さ」を選手も感じました。シュートを外した場面だけを観れば、個人の技術精度も上げるよう取り組むところです。



1日目を戦い...

1年生：「成果の見た攻撃面」～ 課題は「対人」～

1年生チームは初日にこれまでの取組を優先してカバーするのか、パスをにらみ組んできたことで、ゴールに向ける攻撃が展開できた試合もあり成果も見られました。

今後の課題としては、「対人の強さ」です。失点の原因のほとんどが、対人局面から始まっていました。

アバンのサッカーは攻守の切り替え速さ、ゴールに結びつく前に「ボール

全日程 結果 ～ 成長感じた試合もありました ～

【Aチーム(2年生)】

●1月8日(日) 3試合結果

- ① VS 須賀川第二中A ○ 5-0
- ② VS FCみやぎU14② ○ 4-0
- ③ VS FCアヴァンサール ○ 3-0

●1月9日(月・祝) 3試合結果

- ① VS FCみやぎ2 △ 2-2
- ② VS FCみやぎ1 × 1-2
- ③ VS FCアヴァンサール ○ 9-1

【Bチーム(1年生)】

●1月8日(日) 2試合結果

- ① VS FCみやぎU13④ △ 0-0
- ② VS 須賀川第二中B △ 1-1

※試合後、技術トレーニングを集中して実施。

●1月9日(月・祝) 3試合結果

- ① VS 天童第二中 △ 0-0
- ② VS FCみやぎU13③ × 0-3
- ③ VS FCみやぎU13① × 0-8

「チーム力向上」のために

1部昇格に向けた活動として、「チーム力の向上」にもコーチを含め、全員で取り組みましょう。昇格を目指すうえで「競争」はするべきです。

しかし、競争の中でも互いに尊重することは大事です。サッカーはチームスポーツです。人の関係も大切なのです。

例えば、ピッチ上で仲間が判断したプレーについて否定的な言葉が行きかうと、「人」ですから気持ちよくプレーができません。その状況が続くほど「やらなければ」と肩に力が入り、本来の力を発揮できません。

そのため、仲間の行動に対して「受け入れてみること」「信じてあげること」、例えばそれは「ナイスプレー」から始まります。その上で、自分の考えも伝えながら、よりよいプレーを目指します。相手のことを認めたうえで話すことが大事なのです。

「仲間のことを思いやりながら、仲間のために一緒にサッカーをしよう」、ある恩師からいただいた言葉です。MJ1

ジュニアユース練習会・説明会

2月 ジュニアユース練習会・説明会のご案内

2月26日(日)14時00分～16時00分

会場：中田中央公園

練習会後に ↓ 移動していただき

【説明会】：18時00分～19時30分

会場：アバンツァーレ事務局内 指導室

既に体験した選手も、友達にまだアバンツァーレの体験を希望して

いながら体験できていない選手に紹介してあげてください。

参加に関するお問合せは、ジュニアユース担当の畠山まで。



「成長エピソード」 ～成長がチームの「力」となる～

今回は、成長の見られる2年生の羽淵輝貴(はぶちてるき)くんを紹介したいと思います。

輝樹くんとは昨年の新人戦前から継続的に取り組んでいたことがあります。それは「会話」「声」です。輝貴くんは自分から積極的に話しかけるタイプではありません。

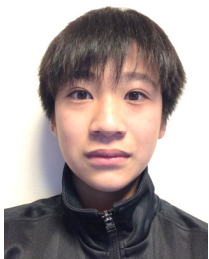
また、中学生になってから「笑顔」がなくなっていました。でも、私は小学生の彼を練習などで見てきたので、輝貴くんに起こっている「なにか」に手を打ちたかったのです。

そこで、一度、二度と彼と話す機会をつくり、「会話する」「声を出す」といったことに力を入れてきました。最近の彼の様子はというと、話しかけるというのはまだ少ないですが、話す表情や声の大きさは確実に変わりました。

プレーの面でも自ら長く走ってチャンスを生み出したり、ゴールに向かって積極的にプレーする姿など、サッカー面の成長も見られることから「成長を待つこと」の大切さを輝貴くんの取り組み続けた姿勢から教わりました。

皆さんも、自分の成長がきっとチームの活動だけでなく、その後の自分の活動の糧となります。仲間の成長を信じること、待ってあげること。時にはその選手を信じているからこそ、相手を思いやりながら伝えてあげることも必要です。一人ひとりの成長が力になります。チームの歴史になります。自ら考え、行動し、感じながら活動していきましょう。

羽淵 輝貴 くん (はぶち てるき)



僕の今までの振り返ってみて、サッカーに対する取り組み方を変えれた

と思います。あまり意識せずに取り組んでいた練習を、ボールが動いた先の展開を変えて、良いポジショニングをとることなどを意識するようになりました

試合でも活かせるようにしていきたい

です。

また、コミュニケーションが僕の課

～ある卒業生からのエール～

今回は、OBの今野充崇くんから激励のメッセージがあるので紹介します。

● クラブイベントでの小中学生との交流という機会をいた

だき、ありがとうございました。これからリーグ戦などが始まる中学生たちにメッセージを送りたいと思います。

今日、試合をしてみて「静かな子」が多いなと感じたことと、もっとゴール貪欲な選手になってもらいたいなと感じました。

僕自身も決してたくさん声を出すタイプではないですが、高校に入り、声を出す大切さを知りました。

それからです！プレーの幅も広がり、よりサッカーの楽しさに気づけました。皆さんもきっとそう思えるはずですよ。

アバンツァーレでは、足元の技術を徹底、対人練習も繰り返しトレーニングし身に着けたことで、とても自信をもってプレーできました。

中学生の年代のうちにたくさんチャレンジしてほしいです。その取り組みの結果が高校に入ったときにすごく活きてきます。それを信じて日々のトレーニングにチーム、そして個人でも励み考えて、工夫して過ごしてみてください。

これからも小中学生、OB、保護者、(ごんの みつたか)



アバンツァーレの武器を継承

現在、チーム練習時には基礎技術の精度や質、連携、タイミングなどについてトレーニング方法を工夫しながら選手全員で共有イメージを持って取り組んでいます。

一方、平日のトレーニングでは、狭い空間の中で近い距離感の中でトレーニングを重ねていますね。今でこそ、専用グラウンドを持ち活動していますが、この距離感こそが歴代の選手たちが武器としてきた形でもあります。この練習場で突破力を磨き、アイデアを磨き、アプローチスピードにも負けないコントロール技術を磨いてきました。ただでさえ近い距離感の中で、ブレイクスピードを失うことなく攻撃的なサッカーを磨いてリーグ戦を戦ってきました。

先日、1月7日(土)に中田中央公園でクラブイベントに参加してくれたOBたちが参加してくれました。ある選手は受験も控える中、嬉しいかぎりです。



アバンの歴史を知る2期生～7期生 歴代OBたち

みんな逞しく素晴らしい選手たちでした。その中でも、2期生以降の選手たちは、少しずつ練習環境が確保され、以前は愛島にあったフットサル場。その場所から今の練習スタイル、プレースタイルが少しずつ生み出されました。今の練習場は、その時のコートにコーチたちが切り取り、貼り付けからゴムチェックを敷きならすまで、全て手作りのグラウンドです。

以前より更に距離感が近いですが、ここで技術を磨きリーグを戦いました。ただし、大きなグラウンドでの練習となれば基本的なキック、特にロングキックについて個人が意識高く取り組みました。

ショートパスの速い連携に加え、展開力に使った低い弾道でのパス、競り合いなども積極的に交流試合などで取り組みました。試合中に「練習」できるチャレンジ精神、心の強さも彼らにはありました。

自分たちのサッカーと向き合い、話し合い自分たちで構築していききました。与えられるサッカーではなく、自分たちの力量からリーグで戦う「チーム力」「個の力」を磨きあげました。

現在の新生U15チームも少しずつコミュニケーション力や技術

～「チーム」の武器として磨くもの～

次年度に控えたMJリーグでは、積み重ねてきた基礎技術と合宿で課題となったフィニッシュ場面の連携、シュート精度、ボール奪取力を存分に発揮する準備をしているところです。今後の強化試合、強化練習、平日練習と貴重な時間を使って、「アバンツァーレのサッカー」をチームで磨いていきましょう。3つの「スピード」を意識する

①身体のスปีド⇒以下に紹介する

②技術のスปีド⇒①「走力」「俊敏性」などの「動き」など

②「トラップ」から「パスを蹴り終わ

③頭のスปีド⇒での一連の処理の速さなど